

平成28年度行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	医療保険者等レセプト電算処理システム改修事業			担当部局庁	医政局		作成責任者				
事業開始年度	平成26年度	事業終了(予定)年度	平成27年度	担当課室	地域医療計画課		室長：伯野 春彦				
会計区分	一般会計										
根拠法令 (具体的な条項も記載)	持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律第4条第1項 医療法第30条の3の2			関係する計画、通知等	-						
主要政策・施策	-			主要経費	社会保障						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	病床機能分化・連携等を推進するため、各医療機関からの報告により得られた情報を関係者が活用し、①将来的に、各医療機能を報告する際の定量的な指標の設定、②地域医療ビジョンにおいて、地域ごとの各医療機能の将来の必要量の推計、③医療機関自らが、人員配置や提供している医療の内容をもとに地域で担う役割の選択を行うことができることを目的とする。										
事業概要 (5行程度以内。別添可)	病床機能分化・連携等を推進するため、各医療機関からの報告により得られた情報を関係者が活用し、①将来的に、各医療機能を報告する際の定量的な指標の設定、②地域医療ビジョンにおいて、地域ごとの各医療機能の将来の必要量の推計、③医療機関自らが、人員配置や提供している医療の内容をもとに地域で担う役割の選択を行うため、医療機関において、レセプトを匿名化する作業を行い、医療機関から都道府県(全国共通のサーバー)に対し、匿名化したレセプトの一部を送付することができるよう医療保険者等のシステムを改修する。										
実施方法	補助										
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	-	26年度	150	27年度	0	28年度	0	29年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し	-	-	-	150	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		計	0	0	0	150	0	0	0	0	0
	執行額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	執行率(%)	-	-	-	0%	-	-	-	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
	システム導入率	システム導入率	成果実績	%	-	-	100	-	-		
			目標値	%	-	-	100	-	-		
			達成度	%	-	-	100	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	システム改修を行う医療保険者数	活動実績	件	-	-	1,518	-				
		当初見込み	件	-	-	1,518	-				
単位当たりコスト	算出根拠		単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込				
	X/Y X:「交付(予定)額」 Y:「電子レセプトシステム使用ヶ所数」	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-				
		計算式	X / Y	-	-	-	-				
平成28・29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由							
	計	0	0								

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策		地域において必要な医療を提供できる体制を整備すること								
	施策		日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること(施策目標 I-1-1)								
	測定指標	定量的指標			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度	
		実績値			-	-	-	-	-	-	
		目標値			-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
	本事業を実施することにより、各医療機関からの報告により得られた情報を関係者が活用し、将来的に、各医療機能を報告する際の定量的な指標の設定に資することができる。										
	アクション・プログラム	改革項目	分野	-							
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績			-	-	-	-	-	-
目標値			-	-	-	-	-	-			
達成度			%	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)			単位	計画開始時年度	27年度	28年度	中間目標年度	目標最終年度	
		成果実績			-	-	-	-	-	-	
		目標値			-	-	-	-	-	-	
		達成度			%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	当制度は医療法に定める予定の病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	当制度は医療法に定める予定の病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、国が実施すべき事業である。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	当制度は医療法に定める予定の病床機能情報の報告制度創設に伴う経費であり、病床の機能分化という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			-							
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			無							
	競争性のない随意契約となったものはないか。			無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			-							
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	診療報酬改定に伴う改修で対応したため、不要になった。							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			-								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			-							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-							
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			-							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			-							
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-							
	所管府省・部局名	事業番号	事業名								
	-	-	-								
点検・改善結果	点検結果	診療報酬改定に伴うシステム改修で対応したため、不要となったが、全ての医療保険者において、システムを導入することができた。									
	改善の方向性	他の類似事業の予算要求にあたっては、他の事業で対応可能か精査してから要求することとする。									

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

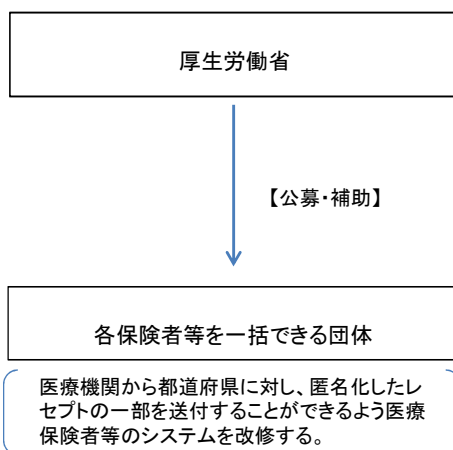
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-		
平成25年度	-	平成26年度	新26-007	平成27年度	34		

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

